

作成日 2010/5/1
改訂日 2025/2/3
判定ルール JIS
対応版 GHS 6版

安全データシート(SDS)

1. 化学品等及び会社情報

化学品の名称(日本語) ナルスワロリキッド
供給者の会社名 成瀬化学株式会社
住所 三重県亀山市関町木崎1703-3
電話番号 0595-96-1411
ファックス番号 0595-96-0079
緊急連絡電話番号 0595-97-8300
推奨用途 塗床舗装仕上材の表面結合力回復

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない(分類対象外)
	エアゾール	区分に該当しない(分類対象外)
	酸化性ガス	区分に該当しない(分類対象外)
	高圧ガス	区分に該当しない(分類対象外)
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない(分類対象外)
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない(分類対象外)
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない(分類対象外)
	有機過氧化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入:気体)	区分に該当しない(分類対象外)
	急性毒性 (吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	区分に該当しない
	皮膚腐食性 /刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な 損傷性/眼刺激性	区分2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳影響	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
環境に対する有害性	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示(ピクトグラム)



注意喚起語	警告
危険有害性情報	強い眼刺激(H319)
注意書き	
安全対策	取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚をよく洗うこと。 (P264) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 (P280)
応急措置	眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当を受けること。 (P337+P313)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物(製品)の区別	混合物
化学物質・混合物(製品)名称	ナルスワロリキッド
化学物質・混合物(製品)一般名称	エマルジョン接着剤(水性)
成分及び濃度又は濃度範囲	

組成	化学名または一般名	濃度範囲 (wt%)	CAS番号	
	ポリエチレン・アクリル ※	46%	—	
	水	54%	—	
危険有害成分 (危険有害性不純物)	2,2,4-トリメチルペンタン -1,3-ジオールモノ イソブチラート (別名:テキサノール) ※	7%	25265-77-4	※ ポリエチレン・アクリルに含有

4. 応急措置

吸入した場合	水を分散媒とした揮発性の低い水性液体で吸入の可能性は少ない。 万一気分が悪くなったときは、空気の新鮮な場所に移動し、 うがいし安静にする。
皮膚に付着した場合	付着物を布にて素早く拭き取る。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とし、 外観に変化が見られたり痛みがある場合には、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	直ちに大量の清浄な流水で瞼の裏まで15分以上洗浄したのち、医師の手当を受ける。 眼の損傷の後のコンタクトレンズの除去は熟練者により処置する。
飲み込んだ場合	口腔を水洗し異常のある場合は医師の手当を受ける。
急性症状の最も重要な 徴候症状	特になし
遅発性症状の最も 重要な徴候症状	特になし
応急措置をする者の 保護に必要な注意事項	特になし
医師に対する特別な 注意事項	特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	この製品自体は水を多量に含む為、そのままでは引火・発火等の燃焼性はない。万一、製品乾燥物に着火した場合は次の処置をとる。 水、炭酸ガス、ドライケミカル等一般消火剤。
使ってはならない消火剤	特になし
火災時の特有の危険有害性	特になし
特有の消火方法	製品乾燥物に着火した場合は、注水、水噴射、ドライケミカル等一般消火剤を使用し 消火は風上から行う。
消火活動を行う者の 特別な保護具	状況に応じて消火用防毒マスクや防火服等の保護具を着用する。
消火活動を行う者の 予防措置	特になし

6. 漏出時の措置

人体に対する 保護具緊急時措置	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
--------------------	--

環境に対する注意事項	この製品は、河川、湖沼等に流出すると少量でも広範囲に渡って白濁する。河川への排出等公共水域及び下水への流入は絶対に避ける。流入してしまった場合、流入した河川から飲料水を取水している場合、流れ去るまで取水を中止してもらう。
封じ込めの方法及び 機材・材料	大量の流出時には乾燥砂、土で囲い、流出を阻止する。漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。
二次災害の防止策	湖沼、河川に大量に流出した場合、必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監督官庁に届け出る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い 技術的対策	気温5℃以上で取り扱う。 容器はその都度密栓をする。 屋上または換気の良い場所で取り扱う。
取り扱い 安全取扱注意事項	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 本製品を取り扱う前に必ず、施工要領書、安全データシートを読むこと。 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、眼に入らぬように適切な保護具を着用する。
保管 安全な保管条件	容器を密閉して、気温5℃以上で直射日光の当たらない暗室に保管する。 水を多量に含む為、禁水性物質と同一場所での保管は避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	設定されていない
管理濃度	設定されていない
設備対策	洗顔及び身体洗浄のための設備の設置が望ましい
呼吸用保護具	誤飲防止マスクを着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
目、顔面の保護具	保護眼鏡／保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用すること。
特別な注意事項	取り扱い後は汚染箇所をよく洗う。作業中の飲食、喫煙は行わない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	水性エマルジョン
色	乳白色
臭い	無臭
可燃性	なし
爆発下限及び 爆発上限／可燃限界	上限:なし 下限:なし
引火点	なし
自然発火点	なし
pH	8.5±1
比重	1.0
その他のデータ	水に可溶

10. 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	通常の保管、取り扱い条件で安定
危険有害反応可能性	通常の保管、取り扱い条件で安定
避けるべき条件	禁水性物質との同一場所での保管は避ける
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:気体)	GHS定義による気体ではない。
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	区分2B CAS番号:25265-77-4 危険有害性情報:H319 強い眼刺激
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない

生殖毒性	分類できない
生殖毒性・授乳影響	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
生態毒性	データなし
残留性	データなし
分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない
備考	漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。 特に、製品や洗浄水が地面、川、排水溝に直接流れないように対処する。

13. 廃棄上の注意

環境上望ましい廃棄、 又はリサイクルに 関する情報	
残余廃棄物(化学品)	容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない事。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する規則に従って処理を行なうか委託する事。
汚染容器及び包装	使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制		
	国連番号	分類基準に該当しない
	品名(国連輸送名)	分類基準に該当しない
	国連分類 (危険有害性クラス)	分類基準に該当しない
	国連分類 (危険有害性クラス: 副次危険)	分類基準に該当しない
	容器等級	分類基準に該当しない
	海洋汚染物質 (該当・非該当)	分類基準に該当しない
	MARPOL73/78 附属書II及びIBC コードによるばら積み 輸送される液体物質 (該当・非該当)	分類基準に該当しない
国内規制がある場合の規制情報		
	海上規制情報	船舶安全法の定めるところに従うこと
	航空規制情報	航空法の定めるところに従うこと
	陸上規制情報	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、 それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。
緊急時応急措置指針番号*		なし
その他の注意		取扱い及び保管上の注意の記載に従うこと。 容器に漏れが無いことを確め、転倒、落下、 損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

15. 適用法令

労働安全衛生法	2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート (別名:テキサノール) (CAS RN:25265-77-4)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	適用を受けない
毒物及び劇物取締法	適用を受けない

その他の国内法令 適用を受けない

16. その他の情報

安全上重要であるが
これまでの項目名に
直接関連しない情報

参考文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構
NITE-Gmiccs 作成
<https://www.ghs.nite.go.jp/>

備考

安全データシートは危険有害な化学製品について安全な取扱いを確保するための参考条件として取扱い事業者へ提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用されるようお願いします。

記載した内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により改定されることがあります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。本製品を使用するに当たって提供された情報を適用するかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行ってください。全ての物質は未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。従って、本データそのものは安全の保証書ではありません。
